

SDGs達成に向けた取り組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 カブト電設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的取組を記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組を記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		「安心安全」「人を大切に」の経営理念を掲げ、従業員に向けて会社のあるべき姿を説明、共有している。経営者自ら社員の模範となるよう実践している。													8	9							17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		朝礼等において、就業規則にも定めている法令遵守に関する取組を従業員に徹底指導している。事務所内には自治体や各団体からのポスターを掲示しており、社員全体にも周知し、啓発に努めている。																					16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		取引業者とは、現場毎に数社から見積依頼を行うなど、公正なやり取りを心掛けている。また、社外との懇親の場を設定する場合は、社会通念上、妥当な範囲内で実施している。																			10			16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		事業活動が、社会・環境に及ぼす影響を全社員に向けて発信している。社内で報告、連絡、相談の徹底を呼び掛けており、最終的に社長がチェックする体制を整えている。																							16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産侵害行為を行わないよう、テキストや動画をを用いて勉強会を行うなど、従業員に向けて指導教育を行っている。														8.2 8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報においては、社内で管理を徹底しており、個人情報漏洩の徹底に努めている。																							16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		ホームページの開設、会社案内パンフレットを作成し会社概要を明確にしている。また、災害時には近隣住民へ支援できるような体制を整えている。取引先、協会社、顧客からの様々な声を聞き入れ、双方向コミュニケーションに努めている。																						16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5									8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																			9		11		13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		経営力向上に力を入れ、安定した基盤を作り、後継者が発展しやすい体制を整えている。人間関係においても、古参者とのコミュニケーションを密にしている。														8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●						1	2									8					12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用、教育、福利厚生など差別のない体制を整えている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5								8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		社外安全研修会に参加し、事故なく業務に取り組めるよう指導を行い、又作業所の安全パトロールも随時行っている。						3							8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員の公正な待遇を行っている。						5.5								8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業を極力減らし、長時間労働を失くすため交代制勤務にするなど、状況に応じた働き方への対策を行っている。また、社員全体で顔を合わせてコミュニケーションが図れる場所を設け、それぞれが生き生きと働くことができるような環境を整えている。							3							8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		社員には外部研修に積極的に参加させ、必要経費の支給により資格取得も奨励している。						4	5.5							8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を毎年行っている。熱中症対策で飲料水を支給している。														3			8						17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進、昇格等に人種、性別などの違いによる差別的待遇はなく、高齢者雇用については、短時間勤務など柔軟に運用している。							4.4	5.1 5.5						8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等を導入している。	●		事務所の玄関、オフィスの各所に体温計、消毒の設置を行っている。また、社内では従業員全員マスクの着用を徹底し、感染対策についてのポスター等を掲示している。さらに、事務所内を密にさせないため、少人数で作業を行い、社内へは時間差で出入りするようスケジュール調整を行っている。																3		8	9.1		11	12		
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●																			8	9.1		11	12			
	21	【ブライ企業】 ・ブライ企業に認定されている。	●																		3	4							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 カブト電設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物は産業廃棄物許可業者に処理を委託し、適正処理への取組を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		太陽光パネルを設置し、節電に取り組んでいる。 電気・水道・ガソリン等の使用量は毎月チェックしており、省エネに取り組んでいる。照明器具のLED化・人感センサーつきの使用、省エネ空調機器の導入により、節電に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】簡易計算シートでエネルギー使用量を算出し、自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に取り組んでいく。【令和4年10月より開始】			2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		産業廃棄物処理用のコンテナを設け、分別を確実にしている。その後は、専門業者に委託し、廃棄物が適正に処理されているかどうかマニフェストで管理している。							6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ペーパーレスの実施として、FAXは基本パソコン上で電子化し、社内資料はコピー用紙に裏紙を再利用している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		社内では社員全体で節水に取り組んでいる。雨どいを使い、社内でタンクに貯水した雨水を現場で使用するように指示している。			2.4				6.3 6.4 6.6				11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		ペーパーレス化への取組を行い、再生用紙の利用を推進している。裏紙の利用を促進している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		事務所内に多くの観葉植物を置き、事務所周りには多くの木や花を植えるなど、緑化や植栽に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3			15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		オフィスの照明器具をLED化している。空調機器は、省エネ高効率の機器を導入し節電に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		プラスチックカップの使用をやめ、マイコップやマイ箸、マイボトルの持参を推奨している。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 カブト電設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		製品の安全性を確保するため、材料など正規なルートからの調達を行い、顧客に提供している。製品の強度と破損がないかの確認を綿密に行っている。作業終了後は、電圧の確認を確実にし、クレーム等がないようその都度丁寧に作業を行っている。			3.9						9			12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		各種工事の際にセンサー付き照明や押しやすい電気スイッチ等、多様な方々の使い勝手を想定した設計施工を提案し施工している。										9.1	10	11.7										17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15					17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7							12.2	13.1		15						
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15					17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		道路清掃活動、草刈り、ゴミ拾いなど、地域ボランティアへの参加を推奨している。 熊本県電設業協会主催道路ふれあいボランティア参加や熊本市託麻商工会主催クリーン作戦に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事業所において、備蓄品や防災グッズを常備している。社員の安全確保のため、ハザードマップ等の周知を定期的に取り組んでいる。				4								11.5		13.1						16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1					16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9			11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4						8.6		10.2									17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4					8.5 8.6												17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15					17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。